



神奈川の風



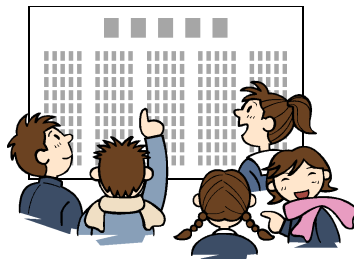
平成29年3月1日号

校長 吉江 明洋

< 公立高校選抜発表 >

昨日2月28日(火)に、公立高校選抜の発表がありました。悲喜ひきこもごもの結果に、担任はもちろん、全校の先生方で一喜一憂しながら報告を受けました。

望み通りの結果を得られた諸君、おめでとう。君の努力の結果ですが、一人で浮かれることなく、感謝の気持ちを、全面的に支えてくれた家族やお世話になった先生方にも自分の言葉で伝えて欲しいと思います。それをしっかりできることが大人への第一歩です。



一方、残念ながらつらい結果であった人もいました。しかし、これが人生の全てではありません。義務教育を修了した後の新たなスタート地点が示されただけです。きっと、「これからのあなたの力を十分に発揮して活躍できるのはこちらの道ですよ」と、神様が示してくれたのだと私は思います。

確かに、学力や学歴はその人にとって大切な要素の一つではありますが、社会に出るからは、どこの学校を出たか、成績はどうだったかだけで評価されることはありません。むしろ学生時代に点数では表せなかった、当たり前のことをあたりまえにできる誠実さや、仕事に対する責任感、そして、明るく協調性があるなどの人柄ひとがらと「どう生きてきたか」「どう生きようとするか」の意欲や行動が結果として残り、積み重なっていくのです。

これからの進路先がA高校でもB高校でも専門学校でも就職でも、今は一つの通過点。そこでどう頑張っていくのかが、これからのあなたの人生を大きく左右する重要なポイントなのです。答えが出るのは、現在ではなくこれから何十年も先なのです。

ですから、望み通りの結果の人も、ただ喜んでいるだけでなく、これから何をしたいのか、どうすべきなのかをじっくりと考えて新しい道に踏み出してほしいと願っています。

まだ、これからチャレンジする生徒もいるので、全ての3年生の進路が決定するまで、先生方は全員で応援しながら、君達が素晴らしい人生を歩み、創り上げることができるよう心から祈っています。

3年生は、卒業式まで残された時間も後10日となりました。一日一日を大切に、悔いを残さない中学校生活を送りましょう。「立つ鳥跡を濁さず」。今こそ「全員を仲間と認める」「仲間と協力する」「仲間を大切にすること」を再確認して、3月10日(金)の第67回卒業証書授与式は、卒業生と在校生が心をつなげた素晴らしいものにしましょう。

